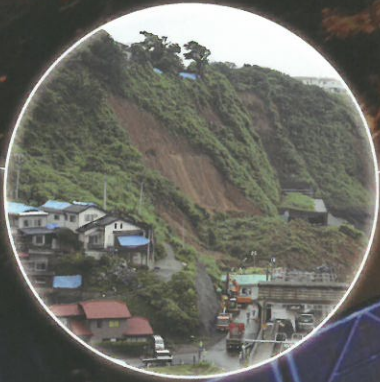




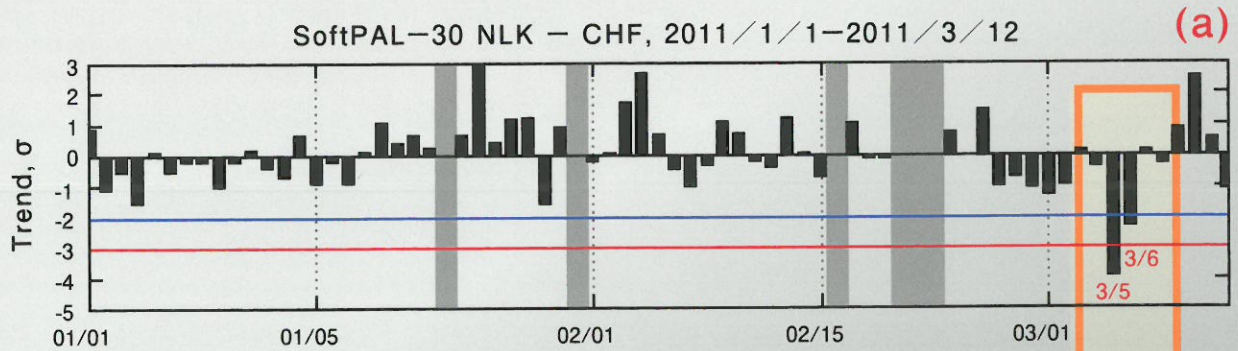
BCP CONSULTING SYSTEM
S-CAST

巨大地震から生命・財産・未来をまもる



3.11の前兆もVLF電波観測で捉えていた

VLF電波観測



2011年3月5日に、約0.006%の確率でしか起こりえない非常に大きな異常を、翌2011年3月6日にも約4%の確率でしか起こりえない大きな異常を解析

提供元 早川教授

1995年阪神淡路大震災より日本国内だけでも中越大地震・東日本大震災と巨大地震による膨大な被害が平均8年弱間隔で発生しております。また、政府は遠くない時期に房総沖・首都圏直下型や東海沖・東南海沖等、3連動巨大地震の発生を予告しており、公共放送による直近の日本を代表する大学の説明でも、日本列島に居るいじょうはこの大地震を覚悟して生活しなければならないと主張しております。

国は2014年3月28日、首都圏直下型大地震310市区町村、南海トラフ大地震707市区町村を防災対策推進地域に指定しました。これらの巨大地震が発生した場合、いずれも国家存亡の巨大リスクの到来といわれています。

当社は2011年の東日本大震災以降、複数の国立大学や天文台の研究者と「巨大地震発生の前兆現象予測による事前BCP」を主たるテーマに共同研究を行いS-CASTシステムを確立して、セキュリティと防災の融合により巨大リスクからの減災情報を多くのユーザーに提供しております。更に、気象業務法の範囲内の電離層最下層(D層)の擾乱観測に加えて、太陽黒点活動の影響を受けにくい、より観測精度の高い電離層全層(F2・F1・E・D層)を観測する手法の研究成果として、2015年10月30日付で特許庁長官より「特許第5830127号」の特許番号を頂きました。

S-CASTシステムによる事前BCPサービスは、大津波からの事前避難計画策定や、何時発生するかもしれない巨大地震の為の備蓄を、基本備蓄と予測後の短期備蓄で対応が可能、帰宅困難者の一時滞在施設の事前準備、電源喪失やインフラ機能低下対策にも効果的に活用されております。巨大地震発生の阻止は不可能ですが、事前対応をすることによる大きな減災に役立つことが当社の社会的存在意義であると思ひ、巨大地震発生を数日～10日前後に予測し、生命・財産の安全とBCP活動の支援を提供するものであります。是非、ご活用いただきたく提案申し上げます。



代表取締役 兼 CEO 鶴賀孝宏

S-CAST BCP地震予測情報活用のメリット

巨大地震発生の
数日～10日前後の事前告知

地震災害用備蓄品コストの削減

災害弱者への事前避難勧告

義務化された避難計画策定への活用

帰宅困難者に効率的配慮への活用

BCP活用提案

※ご留意事項

富士防災警備株式会社が提供する地震予測情報は、自然現象を予測するものであり、現在の科学技術では不可知の要素が含まれており、当社が地震予測の根拠とする前兆現象・メカニズムについても、科学的に完全に解明されているわけではありません。解析の状況次第で、提供する地震予測情報には、数日から10日間程度の差異がある場合や、一度発表した地震予測情報を、その後の状況変化等の要因により修正する場合があります。あくまで、参考情報としてご利用ください。当社が発表した地震予測情報が実際の地震発生状況と一致しない場合であっても責任を負いかねますので予めご了承ください。

なお、当社が発表するBCP発動基準は、M7.5以上の巨大地震の可能性がある場合とさせていただきます。

近年の地震発生と富士防災警備の地震スキーム

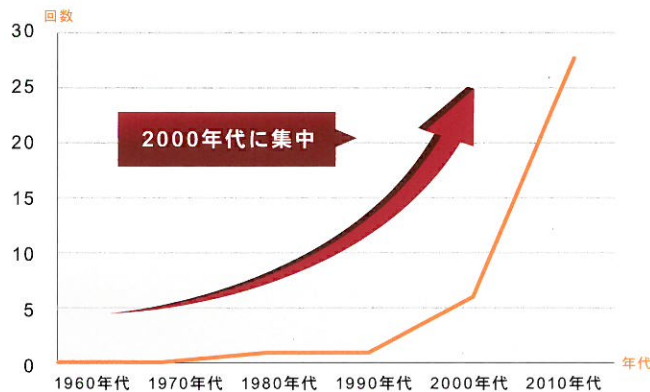
地震大国、日本

世界中で発生するマグニチュード6以上の巨大地震のうち約5分の1が日本で発生しています。

1950年から2009年までに震度6以上の地震は、35回を記録し、そのうち27回が2000年代に集中しており、2011年には、記憶にも新しい東日本大震災。

これまでの日本地震学の定説によれば、東北地域の過去地震のデータ・海域プレートの特色から、30年以内で最大M8クラスの地震が発生するとは予測できず、M9クラスの巨大地震発生に関して「地震学全体の大きな敗北」(2011年10月15日特別シンポジウム「地震学の今を問う」:主催日本地震学会東北地方太平洋沖地震臨時対応委員会)とし、地震学会による地震予測の限界を示す震災となりました。

年度別震度6以上の地震回数



参考: 気象庁ホームページ震度データベース

前兆現象を解析する高確率な予測

近年様々な計測機器の発展により、地震発生前には、電波伝搬異常・磁場異常変動などが、世界各地で観測されており、地震予測に利用できないかと考えられていました。これらの前兆現象は、地震発生の準備段階における地殻内の応力変化に起因して発生していると考えられています。

S-CASTでは、現在地震予測の最も有効な手段として世界的に認知されている電離層擾乱観測に重点を置き、前兆現象のモニタリングをおこなっています。

これらの前兆現象の観測データを、大学・研究機関・当社アナリストが解析することにより、「何時」「何处」「巨大地震」が起こるかを、業界唯一の検証方法にて、高確率

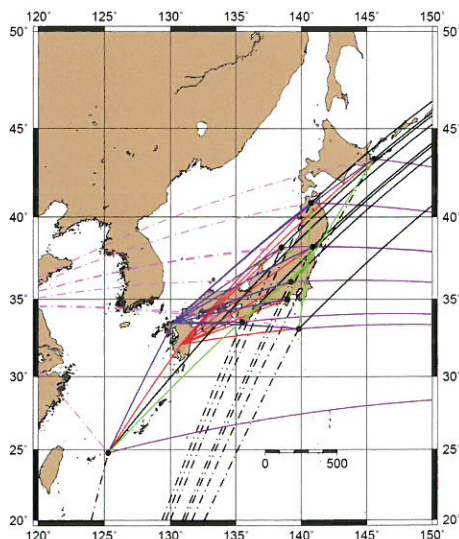
な地震発生予測を 数日～10日前後に告知することが可能となりました。



富士防災警備観測網

電波送信局

- BPC送信局
- JJI送信局
- JJY60送信局
- JJY40送信局
- NLK送信局
- NPM送信局
- NWC送信局



電波受信局

- NMR受信局
- AMR受信局
- SND受信局
- SAD受信局
- YRI受信局
- HTJ受信局
- OHT受信局
- SSM受信局
- MMY受信局
- AJG受信局
- ASH受信局

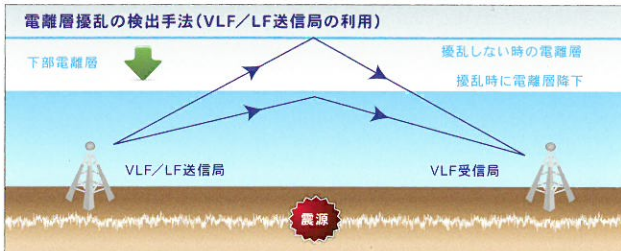
業界唯一の検証方法とは？

BCP CONSULTING SYSTEM
S-CAST

7種類の複合的観測手法

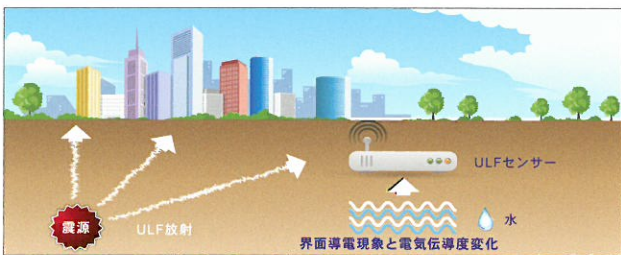
S-CASTは、巨大地震短期予測のため
7種類の観測手法を組み合わせ、
様々な角度から前兆現象を捉え、
観測、解析することにより精度を高めています。

VLF/LF電波による電離層D層の擾乱観測



電離層下部で反射されるVLF/LF電波を観測することで、地震の前に発生する電離層D層の擾乱を検出します。

ULF電波による地中電磁場の変動観測



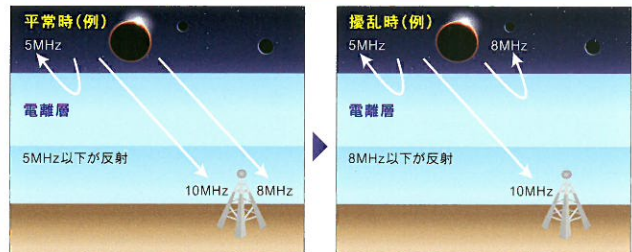
地震の前に発生する微小なひび割れから生じる極超長波とよばれる電波を地表のULFセンサーで検出します。

GPS電波による電離層電子密度の観測



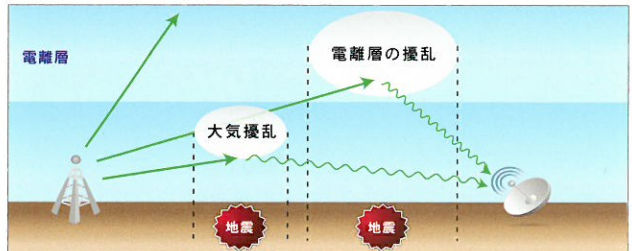
GPS衛星から放射される2周波電波の遅延差を観測し電離層の電子密度を解析することで電離層の擾乱を検出します。

天体電波による電離層全層の観測



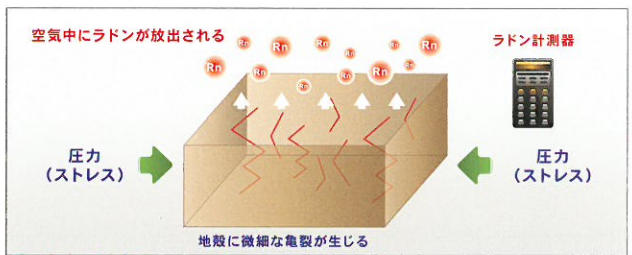
天体からの電波を観測する事で電離層F層の臨界周波数を解析し、地震の前のF層擾乱を検出します。

VOR電波による見通し外の電波受信観測



地震の前に震源上空で発生する電離層や大気圏の擾乱を、航空無線標識として使用されるVOR電波で検出します。

大気中ラドンの濃度観測



地殻にはラドンが含まれており、地震の前に発生する微小なひび割れから大気中に放出されるラドンを観測します。

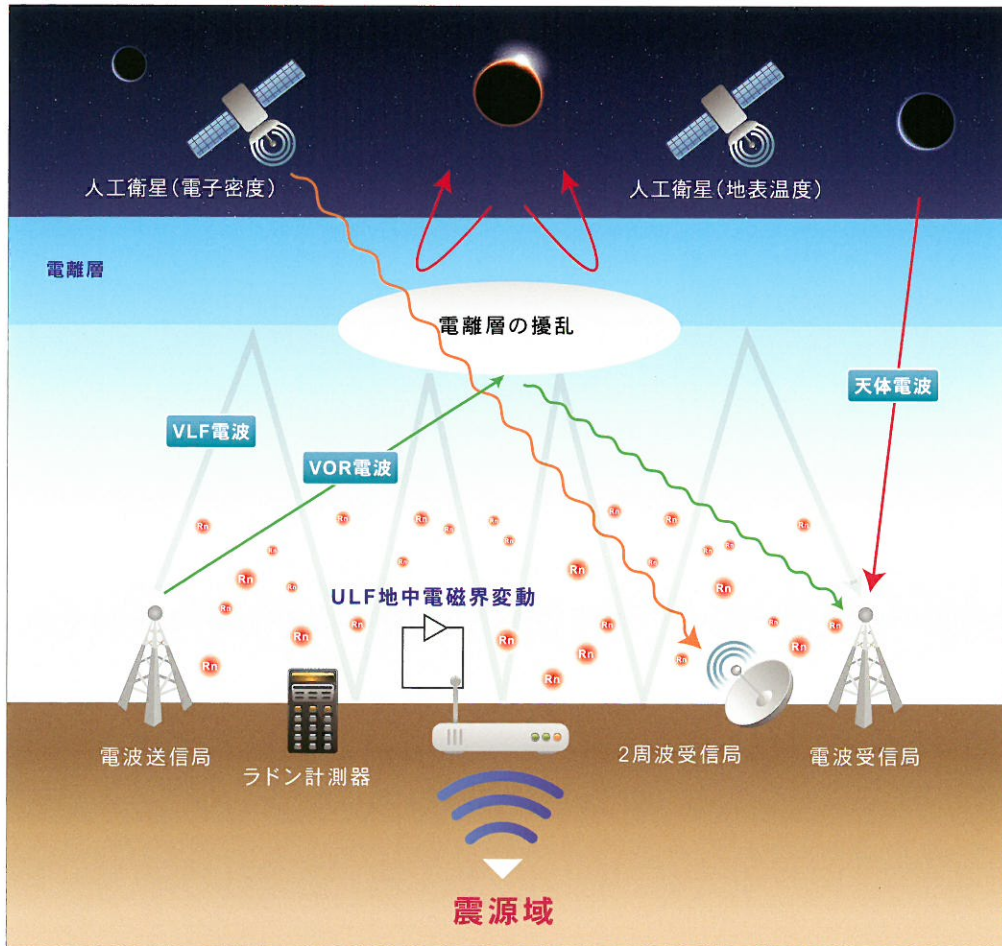
人工衛星による地表温度の観測



温度センサーを搭載した衛星で撮影された画像の解析を行うことにより、地震前の温度異常の有無を調査します。

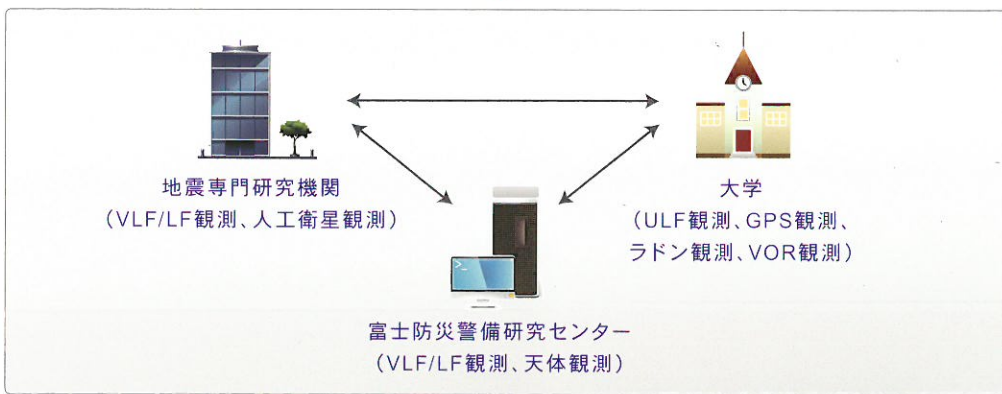
地震専門の研究機関と大学との産学連携

地震専門の研究機関と大学との産学連携



Multiple Observation

複合的に観測方法を組み合わせ、様々な角度から前兆現象を観測することで、より精度を高めています。



Business-academia Collaboration

当社と業務資本提携のある地震専門研究機関・大学との産学連携で共に地震前兆現象の観測・解析をおこないます。

S-CAST 予測情報配信

地震発生予測
数日～10日前後の告知



Information Notice

「何時」「何処で」「巨大地震」が起こるかを数日～10日前後に告知いたします。

BCPをより確かなものに

BCP(Business Continuity Plan)とは

企業が自然災害やテロ等の緊急事態に遭遇した場合、事業資産の損害を最小限に抑えつつ、中核となる事業の継続
或いは早期復旧を可能にする為、緊急時に行うべき行動、事業継続の方法・手段等を予め決めておき、平常時より準備しておく計画のことです。

S-CASTをご利用いただくことで今までにない、
発災後のBCPだけではなく
発災に備えた事前BCPを組み合わせることが可能となります。



事前BCP発令期間中は、第一に自己の安全に注意して行動を!

通信手段は正常に機能するだろうか・・・?

従業員の安全は確保できるだろうか・・・?

社内の備蓄品のストックは・・・?

社内連絡網は見直されてるか・・・?



S-CASTをご利用いただくと・・・

主要幹部外出の際は
衛星携帯電話所持の
徹底!

社員へ事前情報を
伝え安全マニュアルを
徹底させよう!

水、食料などの
期限付きの備蓄品は
予測情報が発動されて
からの準備でOK!
しかも無駄を
へらせた!

災害対策本部からの
連絡網が機能するよう
事前の見直し
できた!

発電機・非常用
バッテリーの準備、
データのバックアップの
見直しをおこなおう!

富士防災警備株式会社ではお客様へS-CAST導入後の予測対応BCPについてコンサルティングサービスをおこなっております。S-CAST予測を基にBCPを発動することにより、大切な家族・社員を守り、資産の被害を抑え、早期復旧を可能にすることをお約束します。

富士防災警備株式会社

〒162-0832 東京都新宿区岩戸町9番地

TEL. 03-3267-3731 (代表)

<http://www.fuji-b-k.co.jp/>



【お客様お問い合わせ窓口】

TEL. 03-3267-3731 (代表)

eigyoun@fuji-b-k.co.jp

※お電話によるお問い合わせは、平日09:00～17:00までとなっております。

